

2019年7月4日

関係各位

マネックス証券株式会社

米国株最低取引手数料を0.1米ドルに引き下げ、主要ネット証券で最安に ～米ドルの為替手数料（買付時）も半年間無料～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：清明祐子、以下「マネックス証券」）は2019年7月8日（月）米国現地約定分（予定）より、米国株取引における最低手数料を5米ドルから0.1米ドル（10セント）へ引き下げますので、お知らせいたします。

■背景

マネックス証券は、米国を拠点とする「TradeStation Group, Inc.」（トレードステーショングループ、代表者：John Bartleman、所在地：フロリダ州、事業内容：金融商品取引業、金融関連のシステム開発業を傘下に有する中間持株会社）と連携し、米国株取引専用スマートフォンアプリの提供や、時間外取引の対応、主要ネット証券^(※1)最多の3,400超の銘柄を取り扱うなど、ネット証券各社とは一線を画す米国株取引サービスを実現してまいりました。

そしてこの度、お客様により低コストでの米国株の取引環境をご提供するために、最低取引手数料を主要ネット証券最安である0.1米ドルへ引き下げます。

また、同日から半年間、米国株購入時に必要となる米ドルの為替手数料（買付時）も無料とし、これまで以上に米国株取引を始めやすい環境にいたします。

■主要ネット証券 米国株取引手数料比較^(※2)

	マネックス証券	SBI証券	楽天証券	松井証券	カブドットコム証券
最低取引手数料	0.1米ドル	5米ドル	5米ドル		
取引手数料	約定金額 ×0.45%	約定金額 ×0.45%	約定金額 ×0.45%	取扱無し	取扱無し
最大取引手数料	20米ドル	20米ドル	20米ドル		

※1 2019年7月4日現在マネックス証券調べ。主要ネット証券は、SBI証券・カブドットコム証券・松井証券・楽天証券・マネックス証券を指します。

※2 2019年7月4日現在マネックス証券調べ。詳細は各社ウェブサイト上にてご確認ください。また、売却時には本取引手数料の他に現地取引費用がかかります。詳細は当社ウェブサイトにてご確認ください。

■キャンペーン

最低取引手数料の引き下げを記念し、2大キャンペーンを実施いたします。

(1) クイズに答えてアメリカ旅行プレゼントキャンペーン（どなたでもご応募可能）

概要：米国株取引サービスにかかわるクイズに正解した方の中から、抽選で2名様にアメリカ旅行をプレゼントいたします。また抽選で20名様にもJTB ナイスギフト10,000円分をプレゼントいたします。

期間：2019年7月4日（木）～2019年8月31日（土）

(2) 米国株厳選銘柄レポート BOOK2019年夏号プレゼントキャンペーン

概要：外国株取引口座をお持ちのお客様全員に「米国株厳選銘柄レポート BOOK2019年夏号」をもれなくプレゼントいたします。（要エントリー）

期間：2019年7月4日（木）～2019年7月19日（金）

※各キャンペーンの内容は、予告なく変更又は中止となる場合がございますのであらかじめご了承ください。

詳細はマネックス証券ウェブサイト（https://info.monex.co.jp/news/2019/20190704_01.html）をご覧ください。

今後もマネックス証券は、2018年11月にマネックスグループが発表したブランドステートメント「[For Creative Minds](#)」に掲げる、従来の枠組みを超えた新しい発想や視点に基づき、創造性を携えて、新しい「お金の未来」を常に提案してまいります。

以上

【手数料等およびリスクについて】

マネックス証券の取扱商品等のお取引をいただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。

また、各商品等には価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じることがあります。各商品等のお取引にかかる手数料等およびリスクは商品毎に異なります。詳細につきましては、マネックス証券ウェブサイトに掲載の「契約締結前交付書面」「上場有価証券等書面」「目論見書」「目論見書補完書面」「リスク・手数料などの重要事項」等を必ずお読みください。

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会